令和5年度若年技能者人材育成支援等事業

事業実施状況(令和5年11月30日時点)

1. 地域における技能振興事業

山梨県技能振興コーナー

- 東米モロ		四米ボス化派共コーク		
事業項目	事業内容・実施計画	実施状況		
(1) 技能五輪	① 技能五輪大会の予選の実施	全国大会の予選として令和5年2月の実施に向け、		
全国大会予選	技能検定課題での予選は貴金属装	日本料理技能士会や調理師専門学校等に協力いただき		
の実施等	身具職種や機械加工職種を実施し、	実施する計画である。		
	それとは別に本事業での予選会とし	今後、詳細日程等の具体的検討を行なうが、学校都合		
	て、日本料理職種について第4四半	等での中止の可能性もある。		
	期に実施を計画し、参加者5名程度			
	を目安に募ります。			
	② 技能五輪全国大会及び若年者も	本県から出場した以下選手、指導者に対し旅費の支		
	のづくり競技大会への参加支援の実	援を行った。		
	施。	□技能五輪全国大会		
	中小企業や教育関連機関に所属す	· 貴金属装身具 選手 4 人		
	る参加選手と指導者に対して費用の	・建築大工 選手1人、指導者1人		
	援助を行うことで、より多くの参加を			
	促進する。	口若年者ものづくり競技大会		
	参加選手は両競技大会で計7名程度	・木工 選手1名、指導者1名		
	を想定。	・電気工事 選手1名、指導者1名		
(2) 卓越した	① センターの編集方針に従って被	令和5年度の県内での受賞者に対し、12月~1月に		
技能者の表彰	 表彰者に対して取材を行い、取材結果	かけて取材を行う予定。		
制度の紹介コ	 をセンターに提出する。			
ンテンツの作				
 成支援				

2. ものづくりマイスターの認定・登録に関する業務

事業項目	*一の認定・豆球に関する未伤 事業内容・実施計画	実施状況
(1)ものづくりマ	電気・電子関係及び機械加工関連職	~,n=n,n
イスターの開拓	種など、実技指導や目指せマイスター	 今年度は11月までに印章彫刻で1名、機械加工で1名、
及び申請書類	プロジェクト等でニーズの高い職種を中	内装仕上げ施工で2名の認定者を出すことができた。
の取り纏め、及	心に、4人以上の認定者を目安として人	
び、ものづくりマ	 材の開拓に取り組む。	 ※平成 25 年度からの累計認定者数は以下のとおり。
イスターへの説	具体的な対応は、企業訪問や広報活	・ものづくりマイスター149人 ・IT 部門3人
明	動、各種団体等への働きかけ等を重点	-DX 部門1人
	的に行いながら、効果的に推進する。	なお、認定を受けたものづくりマイスター等に対する説
	さらに、認定を受けたものづくりマイス	明等や申請書類の取りまとめについても左記実施計画に
	ター等には、実技指導に当たる前に免	もとづいて随時実施する。
	除基準に該当する場合を除き、指導技	
	法等講習を受講する必要がある旨を周	
	知し、コーナーの指示に基づいて活動	
	する際の条件等については、文書にて	
	説明を行う。	
(2)ものづくりマ	指導技法等講習の受講必須者に対	認定を受けたものづくりマイスターには、指導技法講習
イスター等に対	しては、中央技能振興センターで主催し	等の受講が必要である場合はその旨を伝えるとともに活
する研修 	た研修会を受講したコーナー職員等に	動条件等を文書にて説明し、活動に当たっては事前に活
	より、本事業の規定する項目等に関す	動承諾書の提出をいただいている。
	る講習会を行う。	
	(状況に応じ年2回程度の開催を想定)	
	なお、実施に当たっては、ものづくり	
	マイスター等の指導技能が均一になる よう、センター作成のマニュアル等を活	
	用する。 	

3. ものづくりマイスター等の活用に係る業務

事業項目	事業内容•実施計画	実施状況		
(1)若年技能者	以下に掲げる事項について相談・援	地域技能振興コーナーにおいて、窓口を設置し企業・団		
の人材育成に	助、マイスター派遣に係るコーディネー	体等からの相談に対し、電話や面談、必要に応じたコーナ		
係る相談・援助	トを行う。	一職員の訪問等により、ものづくりマイスターの派遣に係		
	① 技能検定課題等を活用した人材	るコーディネートを実施中。		
	育成等の取り組み	また、今年度からは学校等への派遣についても、従来		
	② 若年技能者の人材育成に資す	通りとなったため、学校ニーズの的確な把握を行う等のコ		
	る訓練施設や設備等のコーディ	ーディネートにも努めている。		
	ネート等。	なお、企業に対しては連続派遣ができない旨をご説明し		
	③ ものづくりマイスターの派遣に係	ながら新規利用企業	業の開拓に努めてし	いる。
	るコーディネート。			
(2)ものづくりマ	本事業で規定された企業や学校等	中小企業・業界団体、工業高校等らの要請に応じてもの		
イスターの派遣	へのものづくりマイスターの派遣を行	づくりマイスターを派遣し、実技指導を実施中		
による実技指	う。	以下は熟練技能者活動は含まず。		
導の実施	ものづくりマイスター等の活動数は	□ 活動数実績(11月末時点)		
	1,000人・日を目標として新規利用企	要請分類	事例件数	活動数
	業等を中心とした開拓活動に注力す	企業・業界団体 33件 438人・日		438人•日
	る。	工業高校等	81件	1103人·日
		計	114件	1541人•日
		□ 中小企業、団体及び工業高校等学校への派遣日数		
		・ものづくりマイスター等の派遣日数:		
		企業94日、学校225日、計319日		
		□ 企業・学校等やその受講生の満足度 100%		
			(アン	ケート結果による)
(3)若者に対す	① 地域の若者サポートステーショ	今年度は小学校における体験教室を14校において実		
る「ものづくりの	や小中学校でのものづくり講座、	施することとしている。11月末時点で6校実施済みとなっ		
魅力発信」	体験教室を実施する。	ている。若者サポートステーションでの実施は現在検討		
		中。		

4. 地方公共団体、経済団体等との連携会議の設置・運営)

事業項目	事業内容•実施計画	実施状況
1. 連携会議の	団体及び行政機関との連携会議を	今年度は参集方式として実施した。
開催	行い、意見の聴取を行うとともに密接な連携・協力体制を維持、発展させ事業の効果的推進を図る。 ※2回/年で6月と12月に開催	【第1回目】 資料配布時期 : 令和4年6月 ※資料等は成果物として提出済み 【第2回目】(予定) 実施日 : 令和4年12月6日(水)

5. 全国斉一的な事業展開

事業項目	事業内容•実施計画	実施状況
1. 全国一斉な	センターが開催する全国会議やブ	① センター主催の全国会議への出席(Web 会議)
事業展開	ロック会議、その他必要に応じた斉一	・開催日 : 令和5年4月25日(火)
	的な事業等に対して、積極的に出席・	② センター主催のブロック会議への出席(Web 会議)
	協力することで全国斉一的な事業が	・開催日 : 令和5年10月17日(火)
	円滑で効果的に遂行されるよう対応	12 12 2 13 2 14 2 14 2 14 2 14 2 14 2 14
	する。	③ マイスター研修会参加(Web参加)
		④ ・開催日 : 令和5年10月3日(火) 1名

6. その他

事業項目	事業内容·実施計画	実施状況
1. 地域に対	山梨県職業能力開発協会内に地	山梨県職業能力開発協会内にコーナーを設置し、相談や
るサービス	域技能振興コーナーを設置し、本事	問い合わせに対しては必要に応じ電話やメール、会社訪問
提供方法	業のサービス提供を行う。	などによるサービス提供を行っている。

(計画にはなかったが実施したもの) ・該当なし。

7. 目標達成状況

7-1.成果目標

項目	目標値	実績値
1. ものづくりマイスターの実技指導を利用した企	90%以上	100%
業・業界団体又は教育訓練機関の満足度		
2. ものづくりマイスターの実技指導の内容を理解	90%以上	100%
し、今後に生かせるとした訓練生の割合		
3. ものづくりマイスターを活用した企業又は業界	90%以上	67%
団体が技能検定又は技能競技大会を人材育成に		
活用する契機となった割合		
4. 地域における技能振興事業の参加者の満足度	90%以上	100%

7-2.活動目標

項目	年度目標値	実績値	
1. ものづくりマイスターの活動数	2,000人·日以上	・ものづくりマイスター	
		実技指導	1525人•日
		体験教室	325人•日
		•熟練技能者	
		実技指導	224人•日
		(11月30日時点)	